

大南の軌跡

武蔵村山市立 小中一貫校
大南学園第七小学校
学園だより No. 6
令和2年10月1日

子供たちを満たすもの

校長 五十嵐 誠一

今年9月3日、ユニセフから「ユニセフレポートカード16」が発表されました。今回は「子どもの幸福度」という国際調査の結果についてのレポートでした。今回の調査は先進国と言われる世界38カ国が対象です。日本についての結果は次の通りです。

総合順位 20位

・精神的幸福度 **37位**

・身体的健康 **1位**

・スキル **27位**

この結果で際立っているのは精神的幸福度と身体的健康における非常に大きな順位差です。他の国と比較してもこの二つにこれほど大きな差がある国は他にありません。これが日本の子供たちの大きな特徴です。この二つの大きな差はどのように考えたらよいのでしょうか。

この調査の「身体的健康」は子供の死亡率と肥満の割合から算出されています。つまり、日本は子供の死亡率も肥満の割合も非常に低いということです。これはもちろん優れた医療体制の恩恵と言えます。しかし、もう一つ、物質的な豊かさの現れとも言えるのではないのでしょうか。(食生活の質が下がると肥満が進むという現象があるそうです。)

これに反して調査国中ほぼ最下位と言える「精神的幸福度」は15歳の子供の生活満足度と自殺率から算出されています。自殺率も諸外国に比べて低いわけではなく、これも大きな問題と言えますが、より大きな問題はこの年代の子供たちの生活に対する満足度が極めて低いことです。物質的に

満たされた状態にある子供たちが自分の生活に満足していない、これが日本の子供たちの姿です。

「物質的な欲望は際限なく大きくなっていく」ということは私たちの大人もよく理解しているところです。子供たちも同じで、やはり物質的な豊かさだけでは満たされることはないのでしょうか。

そうすると、子供たちの精神的幸福度を上げていくためにはやはり子供たちの心が満たされることが必要です。子供たちの心を満たすもの、これは様々に考える事ができますが、私は次の三つが大切ではないかと考えています。

- ・成長の実感
- ・一日一日の充実
- ・安心できる人との繋がり

成長の実感と日々の充実のためには子供たちが頑張って達成したこと、できたことを認め、賞賛する言葉が必要です。「できたこと」は今そこにまちがいなくあるものです。これを認めることは今そこにいる子供をしっかりと認めることになります。

安心できる人との繋がりのためには心も体もリラックスして生活することができる家庭や学校、そしておいしいご飯が何より大切だと私は思います。

子供たちの心を満たすことのできるものは何か、これは私たち大人が日々考えていかねばならないことではないのでしょうか。